

ツマベニチョウだより第19号

毎日きびしい残暑がつづきますが如何お過ごしでしょうか。本年2回目のお便りは随分と遅れまして申し訳ありません。今回は嬉しいニュースを報告させていただきます。

潮小学校でツマベニチョウが羽化しました。

新聞やテレビで報道されましたのでご承知のことと思いますが、7月4日と5日にオス、メスそれぞれ2頭の計4頭が羽化しました。私は其の時中国の雲南省の奥深くチュウデンというところの青い芥子などを見に行っていましたので、生憎見ることが出来ませんでした。しかし、同小学校の増田光弘先生が克明な記録をとって下さいましたので、お許しをいただいてそれをそっくりお届けします。(新聞の報道は朝日が5日の宮崎版、宮日が6日の日南、串間版にそれぞれ5段抜きで載っています。毎日にも載ったそうです。テレビはMRTとのことでした)。

ツマベニチョウのことを綴ったエッセイが本になりました。

今年の2月はじめに南日本新聞社が募集した「心にしみる話 きずな編」に応募した私の「ツマベニチョウと出会って」と題するエッセイが採用され、他の作品とともに一冊の本になりました。それは6年前、鶴戸神宮のギョボクの救援にいち早く応じていただいた室屋先生ご父子をはじめ、ツマベニチョウの増殖、誘引に対して賜った皆様のお力添えへの感謝をこめて書かせてもらったものでしたのでとても嬉しく思っています。著作権が新聞社に帰属しましたためコピーしてお目にかけることができませんので、ご覧下さる方には本を丸ごと回覧させていただきます。(送料は当方で負担いたしますのでお知らせ下さい)。

宮崎市花のまちづくり公社より樹木用のラベルをいただきました。

白浜オートキャンプ場の裏山に植えたギョボクの数本が、雑草払いの作業員によって伐採されたことへの対策として、市販の鋼鉄製の支柱を立てさせていただくようにと、公社にお願いに行きましたところ、代りに立派な鉄製のラベル10本を下さいました。そこで補植した分をあわせて7本のギョボクに名前を記入して立てさせてもらいました。今年の苗を補植する予定です。

花木の苗を寄贈しました。

潮小学校にランタナの苗を10本、伊比井地区にハイビスカスとヒメノウゼンカズラの苗をそれぞれ15本、8月13日までにお届けしました。

ギョボクの苗等が順調に生育しています。

挿し木したギョボクやランタナ、ヒメノウゼンカズラ等250本ほどが今年も順調に生育しています。秋口には鶴戸中学校や潮小学校その他植えさせて下さるところへ定植させていただく所存です。

雲南で購入したチョウの図鑑にもツマベニチョウが載っています。

植物もそうですが雲南地方にも南九州と同じ種類と思われるチョウが多いようです。野原ではベニシジミやスジクロシロチョウに似たチョウをよく見かけました。しかし草花に比べてチョウや野鳥は少ないようでした。購入した図鑑によるとタテハモドキとともにツマベニチョウも載っていて懐かしく思いました。

平成13年8月20日

海老原秀夫